

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-167	高等学校	地理歴史科	地理 A	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地 A 307	地理 A		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

- 現代世界の地理的な諸課題を多面的・多角的に考察し、理解を深めることができるようにした。
- 作業的、体験的な学習を通して、地理的な見方や考え方や社会事象を公正にとらえる思考力や判断力が身に付くようにした。
- 社会を構成する一員としての自覚と資質を養い、さまざまな課題に対して主体性を持って取り組む態度を育むようにした。

## 2. 編修の基本方針

### (1) 現代世界の地理的認識を養う教科書

- ・本文は、平易で読みやすい記述を心がけ、現代世界の諸事象を地理的に考察し、認識を深めることができるようにした。
- ・本文内容を補足し、キーワードなどを解説した「NOTE」、図版や写真などを見て行う作業的な課題を示した「WORK」、学習内容に関連した今日的課題などの話題を示した「COLUMN」などを適宜設け、具体的かつ多角的な学習ができるようにした。

### (2) 地理的な見方や考え方を培う教科書

- ・地図や写真などの資料を豊富に掲載し、地理的事象をさまざまな視点からとらえられるように構成した。
- ・作業的、体験的な学習を重視し、さまざまな地理的諸課題について日常生活と関連付けて取り扱い、地理的技能を身に付けるとともに、地理的な事象のとらえ方や考察の深め方が身に付くようにした。
- ・適宜、学習に入る前に行う作業的な課題である「WARM UP」、学習内容を深める「SKILL UP」を設け、具体的な作業活動を通して主体的に地理的技能が習得できるようにした。

### (3) 社会の形成を主体的に担う自覚と資質を養う教科書

- ・さまざまな規模の諸課題を取り上げ、自分の考えをまとめさせる活動や意見を交換する活動を盛り込むことで、諸課題に対する問題意識を持つことができる内容構成にした。
- ・第 4 編第 3 章で身近な地域調査について取り上げ、地理 A の学習の成果として主体的な社会参画に結びつくようにした。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第 1 編 現代世界の特徴と動向	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第 1 号)	5～30 ページ
第 1 章 地球儀や地図からとらえる世界		
1 地球儀と世界地図からとらえる地球		
2 日本の位置と領域		
第 2 章 結びつく現代世界		
1 世界の国家群	「WARM UP」や「SKILL UP」を設け、生徒が地理学習に必要な基礎的技能を習得できるようにした。(第 1 号)	6～7, 11, 15 ～ 17, 28 ～ 29 ページ
2 貿易で結びつく世界		
3 交通・通信の発達と世界の一体化		
4 観光を軸とした国際的な人々の移動	本文の内容を補完する「NOTE」、「WORK」、「COLUMN」を随所に設け、幅広い知識が習得できるように配慮した。(第 1 号)	8, 10, 12, 14, 18 ペー ジなど

	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	10, 23 ページなど
	編末に「まとめ・活用」を設け、「まとめ」部分で学習した内容を自分で確認し、「活用」部分で学習内容を活かすことができるように工夫した。(第2号)	30 ページ
	現代世界のつながりについて、多様な事例や資料を提示し、国際社会に生きる一員としての自覚を促すようにした。(第3号)	18～27 ページ
	環境保護などについて学ぶエコツアーに関する資料を提示し、環境保護についての認識を深められるようにした。(第4号)	27 ページ
	本文と各種資料によって国家と領域についての理解を深めさせ、国際社会の平和と発展に対し主体的に寄与できる態度を養えるようにした。(第5号)	12～14 ページ
	観光を通じて日本文化が広く国際社会に発信されている事例を取り上げており、我が国や郷土の伝統と文化の理解を深めるとともに、それらを尊重する姿勢を涵養できるようにした。(第5号)	27 ページ
第2編 世界の生活・文化の多様性	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	31～130 ページ
第1章 世界的視野から見た自然環境と文化	「WARM UP」や「SKILL UP」を設け、生徒が地理学習に必要な基礎的スキルを習得できるようにした。(第1号)	52～55 ページ
1 生活の舞台としての地形	本文の内容を補充する「NOTE」、「WORK」、「COLUMN」を随所に設け、幅広い知識が習得できるように配慮した。(第1号)	39, 56, 69, 90, 113, 121 ページなど
2 生活の舞台としての気候	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	39, 80, 86, 124 ページなど
3 生活の様式としての文化	章末に「まとめ・活用」を設け、「まとめ」部分で学習した内容を自分で確認し、「活用」部分で学習内容を活かすことができるように工夫した。(第2号)	64～65, 128～130 ページ
4 生活の基盤としての産業	地域ごとに環境条件を活かして、さまざまな職業に従事する様子の写真を掲載し、生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)	86, 98, 102, 119, 124 ページなど
第2章 諸地域の生活・文化と環境		
1 東アジアの生活・文化と環境		
2 東南アジアの生活・文化と環境		
3 南アジアの生活・文化と環境		
4 西アジア・北アフリカの生活・文化と環境		
5 サハラ以南アフリカの生活・文化と環境		
6 ヨーロッパの生活・文化と環境		
7 ロシアとその周辺諸国の生活・文化と環境		
8 北アメリカの生活・文化と環境		
9 中部・南アメリカの生活・文化と環境		
10 オセアニアの生活・文化と環境		

	世界各地で多様な民族によってさまざまな文化・言語・宗教が展開されていることやこれらに関連して発生している課題等を丁寧に記述し、今後の社会形成に向けて、こうした多様な民族・文化等を受容する姿勢を持てるようにした。(第3号)	54～59, 89, 93, 123 ページなど
	生活と結びついた産業の進展について記述し、現代社会における人々の営みなどのように展開されてきたかについて理解するとともに、今後の社会形成に向けた課題について積極的に考えられるようにした。(第3号)	60～63 ページ
	世界各地の環境問題等について取り上げ、環境保全についての意識を高めるとともに、こうした課題の解決に向けた取り組みに関与する態度を養うようにした。(第4号)	43, 45, 72～73, 87, 105, 120 ページなど
	世界各地の豊かな自然環境を豊富な写真資料で提示し、これらを守り次代に受け継いでいく重要性を認識できるようにした。(第4号)	32～51, 96, 110, 116, 122 ページなど
	世界各地の生活と日本とのつながりについて随所で取り上げ、各地の産業や文化の進展に日本が関与していることを理解できるようにした。(第5号)	69, 83, 113, 121 ページなど
	世界各地に暮らす多様な人々の生活を伝統的な暮らしとその変化に触れながら取り上げ、多様な文化を理解し尊重する態度を養うことができるようにした。(第5号)	66～127 ページ
第3編 深刻化する地球的課題とその解決策	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	131～160 ページ
第1章 地図で読み解く地球的課題		
第2章 さまざまな地球的課題		
1 世界の資源・エネルギー問題	本文の内容を補完する「NOTE」, 「WORK」, 「COLUMN」を随所に設け、幅広い知識が習得できるように配慮した。(第1号)	139, 145, 149, 151, 159 ページなど
2 世界の人口問題		
3 世界の食料問題		
4 世界の都市問題		
5 世界の環境問題		
第3章 持続可能な社会の実現をめざして	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	133, 139, 145, 155 ページなど
1 地球的課題をめぐる国際協力		
2 地球的解決へ向けての日本の取り組み		
3 持続可能な社会の実現へ向けて	編末に「まとめ・活用」を設け、「まとめ」部分で学習内容を自分で確認し、「活用」部分で学習内容を活かすことができるように工夫した。(第2号)	160 ページ

	世界の諸課題を取り上げ、その解決に向けては各国の取り組みや国際協力が必要であることについて考察させ、理解できるようにした。(第3号)	131～159 ページ
	人間社会と自然環境とのかわり、そこで生じている課題について考察できるようにした。(第4号)	134～153 ページ
	持続可能な社会に向けての取り組みについて取り上げ、環境保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第4号)	154～159 ページ
	地球的課題に対する我が国や世界的な取り組みについて取り上げており、国際社会において我が国が果たすべき役割について考えることができる教材を掲載した。(第5号)	154～159 ページ
	国際的な課題に関する日本の取り組みを多面的に提示することで、我が国に対する誇りと愛着を感じるとともに国際社会の平和と発展に対し主体的に寄与できる態度を養えるようにした。(第5号)	156～157 ページ
第4編 身近な地域と地理的課題	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	161～203 ページ
第1章 身近な地域と地図	「WARM UP」や「SKILL UP」を設け、生徒が地理学習に必要な基礎的技能を習得できるようにした。(第1号)	164～165, 170～171, 193 ページ
1 さまざまな地図とその果たす役割	本文の内容を補完する「NOTE」, 「WORK」, 「COLUMN」を随所に設け、幅広い知識が習得できるように配慮した。(第1号)	169, 176, 179, 194, 200 ページ など
2 地形図から読み取る身近な地域	自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を随所に提示した。(第2号)	168～169, 171, 197～ 200 ページ など
3 主題図の作成	編末に「まとめ・活用」を設け、「まとめ」部分で学習した内容を自分で確認し、「活用」部分で学習内容を活かすことができるように工夫した。(第2号)	202～203 ページ
第2章 自然環境と防災	身近な地域の調査学習を通して、生徒一人ひとりに主体的な社会参画を促し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号)	192 ～ 201 ページ
1 日本列島の自然環境と自然災害		
2 日本列島の自然災害と防災		
第3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査		
1 地域の課題を調べる		
2 地域調査の事例		
3 地域の課題に取り組む		

	身近に発生することが想定される自然災害に対して、自分たちができることを考えとともに、地域の一員として主体的に関与する態度を養うことができるようにした。(第3号)	191 ページ
	自然災害から人々の生命を守るためのさまざまな取り組みを提示し、環境の保全と関連する形での防災・減災について考察できるようにした。(第4号)	176～191 ページ
	日本の多様な自然環境とそれを活用したり、保全したりする取り組みについて取り上げ、環境保全の重要性について理解できるようにした。(第4号)	179, 180, 201 ページなど
	過去の災害や防災への取り組みなども紹介し、先人たちの育んできた知恵に触れながら、我が国の自然環境の特質を理解できるようにした。(第5号)	172～191 ページ
	災害発生に対応した自助・共助・公助のさまざまな取り組みについて取り上げ、社会の一員としてこうした取り組みの重要性を認識するとともに、自らもそれに寄与する態度を養うことができるようにした。(第5号)	186～187, 190～191 ページなど

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 全体を通して、写真資料を大きく提示するようにした。特に、「世界の生活・文化の多様性」では、事例地域ごとに最初の見開きで写真と地勢図を大きく提示して、地域をとらえやすくするよう工夫した。
- 地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習をすすめられるよう留意した。
- 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-167	高等学校	地理歴史科	地理 A	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	地 A 307	地理 A		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

◎総則における「教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項」、「教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項」に示された内容に関して、以下の点に配慮した。

### 1. 言語活動の充実

①随所に「WORK」や「討論&論述」などを設定し、考えを文章でまとめたり、意見を交換したりする活動を提示し、言語能力の育成を図ることができるように工夫した。

②編末や章末に配した「まとめ・活用」の「活用」部分では、ディベートのやり方の説明や論述の課題例などを示し、多様な言語活動に関する問いを設けた。

### 2. 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視

①巻頭に口絵頁を設け、地理の学習にかかわる内容を写真資料で大観できるようにして、科目全体の導入として扱うことができるように工夫した。

②章や節の冒頭にリード文を掲載し、それぞれの項目でどのような点に着目して学習を進めていけばよいのかわかりやすくなるように工夫した。

### ③「まとめ・活用」の設置

編末や章末に「まとめ・活用」のページを設け、学習内容を振り返り、理解を助けるようにした。

### 3. 障害のある生徒の指導

◎色覚特性のある生徒にも判別しやすいように、配色に配慮した。

◎地理歴史科(地理A)の目標に関して、以下の点に配慮した。

### 4. 現代世界の地理的認識の育成

①随所に本文内容の補完やキーワードを説明する「NOTE」を配し、地理的事象の理解が深まるようにした。

②事例地域を学習する第2編第2章では、それぞれの事例地域の最初の見開きに地域の地勢図と周辺地域を含めて事例地域を示した半球図を掲載し、地域の全体像をとらえながら学習できるようにした。また、地勢図には同縮尺の日本を示すなどして、地域の規模などが理解しやすくなるように工夫した。

③巻末の折込に日本全図、世界全図を掲載し、地理的な事象と国や地域の関係を意識しながら学習できるようにした。

### 5. 地理的な見方や考え方の修得

①「WARM UP」、「SKILL UP」のページを設け、写真や地図などの資料の読み取りや作業を通して、基本的な地理的技能を身に付けるとともに地理的な見方や考え方を養えるようにした。

②「WORK」では本文ページに掲載した図版の読み取りや作業などを設定し、本文の内容の理解を深めながら、地理的技能を身に付けられるようにした。

③第4編第3章では、事例に沿って地域調査の手順を丁寧に解説し、生徒が地域調査の方法を身に付け、ここまで身に付けてきた地理的技能を活用できるようにした。また、さまざまな地域調査の事例を紹介して、生徒が自分たちの住む地域に合ったテーマを決める際の参考となるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 現代世界の特徴と動向	第1章 地球儀や地図からとらえる世界 1 地球儀と世界地図からとらえる地球	(1) ア	5~11ページ	1

	2 日本の位置と領域	(1) ア	12～15ページ	1
	第2章 結びつく現代世界	(1) ア	16～19ページ	1
	1 世界の国家群	(1) ア	20～21ページ	1
	2 貿易で結びつく世界	(1) ア	22～25ページ	1
	3 交通・通信の発達と世界の一体化	(1) ア	26～30ページ	1
	4 観光を軸とした国際的な人々の移動	(1) ア		
第2編 世界の生活・文化の多様性	第1章 世界的視野から見た自然環境と文化	(1) イ	31～37ページ	2
	1 生活の舞台としての地形	(1) イ	38～53ページ	5
	2 生活の舞台としての気候	(1) イ	54～59ページ	1
	3 生活の様式としての文化	(1) イ	60～65ページ	1
	4 生活の基盤としての産業	(1) イ		
	第2章 諸地域の生活・文化と環境	(1) イ	66～77ページ	4
	1 東アジアの生活・文化と環境	(1) イ	78～83ページ	3
	2 東南アジアの生活・文化と環境	(1) イ	84～89ページ	3
	3 南アジアの生活・文化と環境	(1) イ	90～95ページ	3
	4 西アジア・北アフリカの生活・文化と環境	(1) イ	96～99ページ	2
	5 サハラ以南アフリカの生活・文化と環境	(1) イ	100～105ページ	3
	6 ヨーロッパの生活・文化と環境	(1) イ	106～109ページ	2
	7 ロシアとその周辺諸国の生活・文化と環境	(1) イ	110～115ページ	3
	8 北アメリカの生活・文化と環境	(1) イ	116～121ページ	3
9 中部・南アメリカの生活・文化と環境	(1) イ	122～130ページ	3	
10 オセアニアの生活・文化と環境	(1) イ			
第3編 深刻化する地球的課題とその解決策	第1章 地図で読み解く地球的課題	(1) ウ	131～133ページ	1
	第2章 さまざまな地球的課題	(1) ウ	134～137ページ	2
	1 世界の資源・エネルギー問題	(1) ウ	138～141ページ	2
	2 世界の人口問題	(1) ウ	142～145ページ	2
	3 世界の食料問題	(1) ウ	146～149ページ	2
	4 世界の都市問題	(1) ウ	150～153ページ	2
	5 世界の環境問題	(1) ウ		
	第3章 持続可能な社会の実現をめざして	(1) ウ	154～155ページ	1
1 地球的課題をめぐる国際協力	(1) ウ	156～157ページ	1	
2 地球的解決へ向けての日本の取り組み	(1) ウ			

	3 持続可能な社会の実現へ向けて	(1) ウ	158～160ページ	1
第4編 身近な地域と地理的課題	第1章 身近な地域と地図			
	1 さまざまな地図とその果たす役割	(2) ア	161～163ページ	1
	2 地形図から読み取る身近な地域	(2) ア	164～167ページ	1
	3 主題図の作成	(2) ア	168～171ページ	1
	第2章 自然環境と防災			
	1 日本列島の自然環境と自然災害	(2) イ	172～175ページ	2
	2 日本列島の自然災害と防災	(2) イ	176～191ページ	4
	第3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査			
	1 地域の課題を調べる	(2) ウ	192～197ページ	1
	2 地域調査の事例	(2) ウ	198～200ページ	1
	3 地域の課題に取り組む	(2) ウ	201～203ページ	1
			計	70